

サンサ右京

設計：東畑建築事務所

D+T



エントランスホール上部から吹抜け越しに段状屋上緑化テラスを見る



三条通から西面外観を見る 横使いのテラコッタルーバーを基本に縦使いを挿入することで表情に変化をつけている



上—南面外観 低層部にはリップ付きタイルをランダムに張り、独特の陰影をつけている
下—北面外観 アルミカーテンウォールに詰め込まれたテラコッタパネル



駅前広場からメインエントランス方向を見る。段状屋上緑化テラスと5層吹抜け空間が一体的に配置されている

Design + Technique

“地域の森”をつくる

根木和人
KAZUTO NEGI

映画の街として名高い太秦の地は、平安京が造営される以前の古代から栄えた先進地であるが、昭和30年代以降、住宅や工場立地の波が押し寄せ、十分な都市基盤整備が追いつかない状況であった。京都市では、この太秦東部地区において、京都市営地下鉄東西線の西伸に伴い新設される太秦天神川駅の整備に合わせ、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行による駅周辺のまちづくりを進めてきた。全体計画の中で本施設は“にぎわい施設”と位置づけられ、右京区総合庁舎・右京中央図書館・右京地域体育館・京都市交通局・分譲共同住宅・店舗・地下駐車場が構成される、右京区の新しい交流拠点として計画された再開発プロジェクトである。

施設計画においては、右京区の新しい拠点施設にふさわしい、地域のランドマークとして機能するシンボリックで親しまれる建物づくりが求められた。その回答として、駅前広場からつながる、“地域の森”に見立てた段状屋上緑化テラスと、ガラスファサードで覆われた5層吹抜けエントランス空間を一体的に配置して回遊空間をつくり、これを施設の顔として中心に据えることを考えた。段状屋上緑化テラスと5層吹抜け空間とはL型配置によって向き合い、互いに見る・見られる関係が立体的に展開することにより、施設全体に賑わい感が創出されることを意図している。各施設はこのパブリック空間を中心に配置され、利用者に分かりやすい構成とするとともに、区民ロビーやギャラリーなど、各所に交流の場



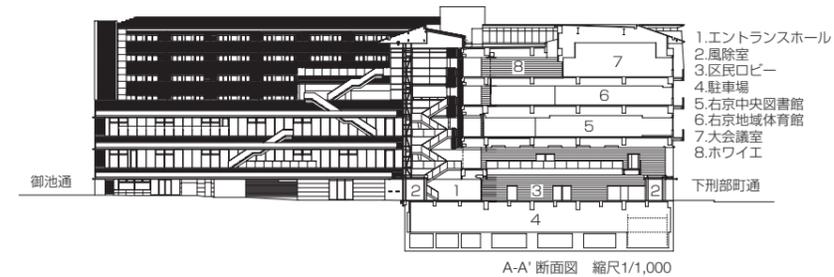
駅前広場から見た北西面全景

を用意している。

外装は、建物の縦ボリューム感を抑える水平ライン基調としている。3種類のせつ器質タイル、テラコッタルーバー、テラコッタパネルといった、屋上緑化に呼応し、かつ周辺に対して柔らかな印象を与える自然系の素材を基本に用い、アルミパネルやアルミルーバーなどの金属系仕上げを挿入することによって、シャープで新しい印象を加えている。建物全体の基調となる45×95mmタイルは、横目地を15mm幅に広げてブリック目地詰とすることにより、通常のモザイクタイルとは違った独特の風合いに仕上げている。南・東面の低層部に用いているタイルは200×60×15mmに山高5mmのリップが2本付く形状で、リップの位置を変えた3形状のタイルをランダムに張り、フラットなボーダータイルを挿入して、壁面を分節しながら変化に富んだ陰影をつけている。辻部に面した外壁には、アイストップとなるスクリーン壁を設け、二丁掛の割肌・はつりタイルを用いて存在感を主張させている。テラコッタルーバーは、RC壁からメンテナンスデッキを挟んで格子状に持ち出された鉄骨下地に、断面寸法200×60mmを横使いし、各層ごとに同型のルーバーを縦使いして

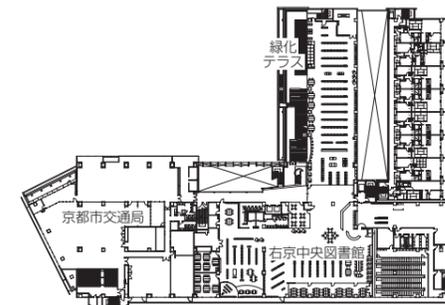
挿入する構成とした。これにより建物の面的ボリューム感を抑え、周辺に対して圧迫感を軽減するとともに、西面においては内部に対して西日の遮蔽に寄与している。アルミカーテンウォールには、ステンレスプレートで止水性能を確保したテラコッタパネルを嵌め込み、シャープな表情の中に柔らかな印象を付加している。各仕上げは屋上緑化に呼応する土由来の素材感を表現できるマットな色合い仕上げとし、全体を3種類の色調に抑えた。時がたつにつれ、緑の繁栄とともに自然素材の風合いが深みを増し、“地域の森”として馴染んでいくことを期待している。*

ねぎ・かずと—東畑建築事務所 設計部主任技師/1973年生まれ。1997年、大阪市立大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。同年、東畑建築事務所入社。
主な作品：京都府警察学校厚生棟（2001）、大阪府警察学校専科教養部（2002）など。

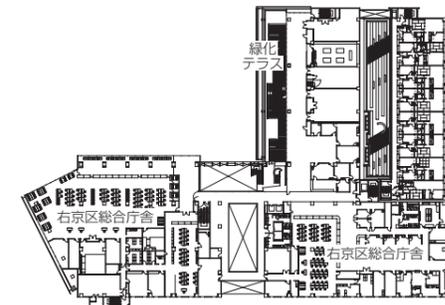


1. エントランスホール
2. 風除室
3. 区民ロビー
4. 駐車場
5. 右京中央図書館
6. 右京地域体育館
7. 大会議室
8. ホワイエ

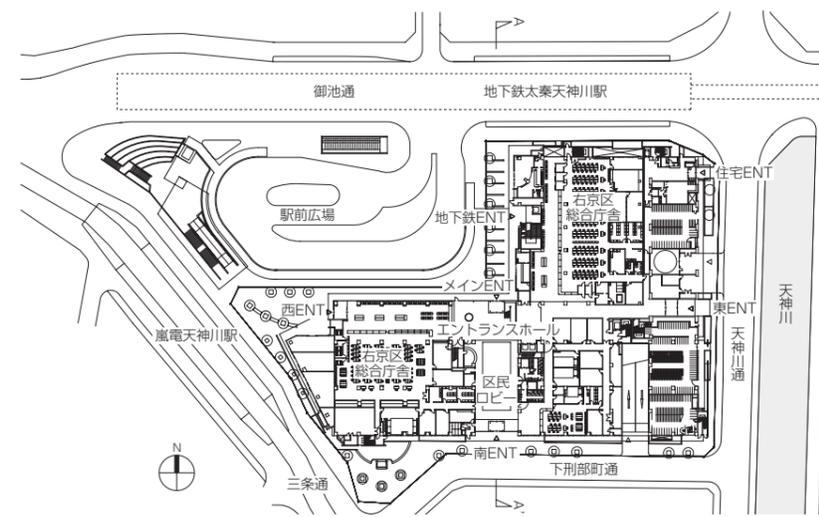
A-A' 断面図 縮尺1/1,000



3階平面図



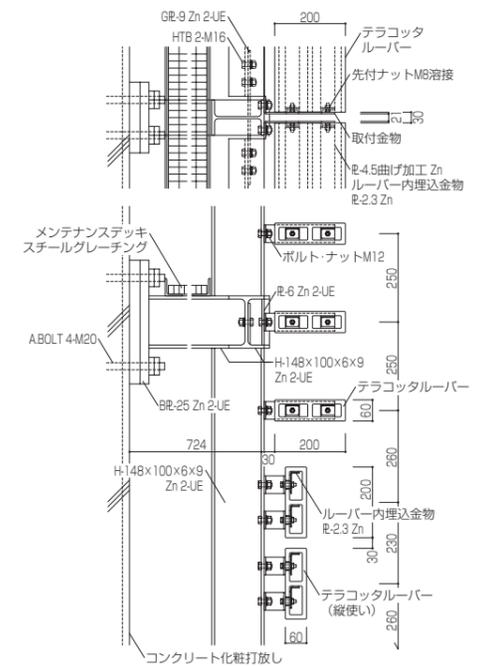
2階平面図



配置・1階平面図 縮尺1/2,000



上—3階緑化テラス
下—東面壁面ディテール 写真左側は二丁掛の割肌・はつりタイルをミックス張りし、存在感を与えたスクリーン壁。右側はテラコッタルーバー



テラコッタルーバー詳細図 縮尺1/20

■建築概要

名称：サンサ右京 京都市太秦東部地区第一種市街地再開発事業施設建築物
所在地：京都市右京区太秦下刑部町121ほか
設計：東畑建築事務所
施工：清水・銭高・岡野・長村特定建設工事共同企業体
敷地面積：8,760.14㎡
建築面積：6,826.64㎡
延床面積：34,676.52㎡
規模：地下1階、地上8階（施設部分は地上5階）
構造：SRC造、RC造、S造
工期：2005.11～2008.2
●INAX使用商品●FC-11/特注色, TL-200×60特注色, CFC-255RG/特注色